ハワーズ・エンド（1992）

HOWARDS END

メディア	映画
ジャンル	ドラマ　文芸
製作国	イギリス／日本
色彩	Color
時間	143分
初公開日	1992/07/11
公開情報	フジテレビ＝ヘラルド・エース＝アスミック提供／ヘラルド・エース＝ヘラルド
映倫	G
リバイバル	2019/09/13［ハーク］（４Ｋデジタル・リマスター版）

【キャッチコピー】
愛が騒ぐ。自由の風が吹く。

【解説】
　アメリカ出身でありながらイギリスを主な活躍場所とするＪ・アイヴォリーが「眺めのいい部屋」「モーリス」に続き、三度Ｅ・Ｍ・フォスター文学に挑んだ作品。主役の姉妹には本作でオスカーを獲得したＥ・トンプソンと、この連作ではおなじみのＨ・Ｂ＝カーター。助演陣も豪華で、表題の邸宅の女当主にＶ・レッドグレーヴ。その夫にＡ・ホプキンス、息子にＪ・ウィルビーという布陣である。知的中産階級で理想主義的なシュレーゲル家と、現実的な実業家のウィルコックス家は旅行中に親しくなり、シュレーゲルの次女ヘレンはウィルコックスの別荘ハワーズ・エンドに招かれる。美しい田園風景の中、当家の次男坊ポールに一目惚れしたヘレンは、姉に婚約の意志を書き送る。それを読んで、すわ結婚と早とちりした姉が飛んでくるが、ポールにそのつもりはなく姉マーガレットは逆上。やがて時あって、運悪く、ロンドンのシュレーゲル家の真向かいに越すウィルコックス家。ヘレンは頑なだが、大らかな姉は夫人ルースと親しくなり、現実一点張りの一族の中で一人、詩を理解する彼女と深い友情で結ばれる。病を冒され、死の床にあったルースの遺言も“ハワーズ・エンドはマーガレットに”であったが、夫はそれを無視。しかし、その彼がマーガレットに恋をし、彼女は後妻として迎えられる。一方、ヘレンは、ヘンリーの失策から失業したバスト氏に深く同情し一夜を共にしてしまう。姉妹の対立は明らかに見えたが……。穏やかで進歩的な考えを持つ二人の女性の交流の描写は心に残るが、全体にお行儀が良すぎる。

【クレジット】

監督	ジェームズ・アイヴォリー	James Ivory
製作	イスマイル・マーチャント	Ismail Merchant
製作総指揮	ポール・ブラッドリー	Paul Bradley
原作	Ｅ・Ｍ・フォスター	E. M. Forster
脚本	ルース・プラワー・ジャブヴァーラ	Ruth Prawer Jhabvala
撮影	トニー・ピアース＝ロバーツ	Tony Pierce-Roberts
音楽	リチャード・ロビンズ	Richard Robbins
出演	アンソニー・ホプキンス	Anthony Hopkins
	ヴァネッサ・レッドグレーヴ	Vanessa Redgrave
	ヘレナ・ボナム＝カーター	Helena Bonham-Carter
	エマ・トンプソン	Emma Thompson
	ジェームズ・ウィルビー	James Wilby

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

サミュエル・ウェスト	Samuel West
ジェマ・レッドグレーヴ	Jemma Redgrave
ニコラ・デュフェット	
プルネラ・スケイルズ	Prunella Scales
サイモン・キャロウ	Simon Callow

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.